

会 議 録

第 1 3 回定例会

開会 令和 6 年 1 0 月 2 3 日

教育委員会会議録

1 開 会 令和6年10月23日 午前10時05分

2 閉 会 令和6年10月23日 午前11時

3 教育委員会出席者

教育長	中川 斉史
委 員	島 隆寛
委 員	三木 千佳子
委 員	河野 暁
委 員	岡本 弘子
委 員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	松本 光裕
教 育 次 長	海老名 正規
教 育 次 長	眞梏 秀也
教育政策課コンプライアンス推進室長	織野 明弘
教 育 創 生 課 長	藤坂 仁貴
教 職 員 課 長	西浦 利幸
教 育 政 策 課 長	内海 はやと
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 報告事項 1 を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第 3 2 号 令和 7 年度公立高等学校生徒募集定員について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：募集定員の決め方については、例年、同じ考え方を踏襲していると思うが、将来的に、通学区域制を廃止したときに、人気が高い徳島市内の高校へ生徒が集中し、周辺校の生徒が減り、地域の若者が減るのではと懸念を持つ方がいる。徳島市内への集中を防ぐために徳島市内の定員を下げると、周辺校には生徒が残るが、不合格者も増える可能性がある。今の入試を前期・後期制にするなど、入試制度の変更も考えていかなければならない。海部高校は、海陽町が予算を投じたりするなどして、魅力化を推進している。このように、各校に創意工夫を促し、首長や地域の方々にも協力を仰いで、地域からも支援していただけるような協力体制づくりが必要である。通学区域制廃止の方向性は決まっているので、例えば、廃校が決まってから騒ぎ出すのではなく、将来のことも示す必要がある。通学区域制廃止後の姿をある程度定めた上で、急激な変更にならないように、定員については段階的に、廃止を見据えて、決めていっていただきたい。

教育創生課長：有識者会議で、定員設定の在り方や入試制度をどうしていくか、しっかり議論いただきたいと考えている。

岡本委員：専門学科の人数が減るのは残念で、さらなる魅力化に向けて頑張っていたきたい。島委員の言うとおりに、これからの通学区域制の廃止を見据えて調整していかなければならない。徳島市内の高校の人数が減るのは仕方がないが、今回、徳島市内の高校の学級数は減るのか。

教育創生課長：徳島市内に関しては、学級数は維持している。

岡本委員：維持できても、ギリギリのところだと思うので、通学区域制を見直した時に、徳島市内の募集定員を減らすことが本当によいのかを見極める必要がある。増やしたり減らしたりせず、先を見据えて、徳島市内は減らさない方がいいのではないかな。

教育創生課長：これまでは、地域の生徒数の増減をベースに募集定員を設定してきている。徳島市は生徒数が減っていて、徳島北高校の近くの松茂町・北島町・藍住町の生徒数が減っていること考慮した。

三木委員：通学区域制の廃止に対して、多くの方が不安感を持たれている。廃止になって、徳島市外からの受検者が増え、徳島市内の募集定員が減ることにより、徳島市内の生徒が市外へ出されるということへの恐怖感を持っている方が大勢いる。そういう声をよく聞くので、少しでも早く方向性を示してあげて欲しい。

教育創生課長：第４回の有識者会議で、議論していきたい。

横田委員：中学３年生の生徒数が、令和７年度では５，７２２人で、令和１５年度では５，０９０人となることが予想されている。５，０９０人に減少したときの、各地域における生徒数減のシミュレーションはできていると思うが、徳島市内の学校規模を維持したままで、なおかつ、地域の学校規模も維持したままというのは、絶対不可能な話である。学校の統廃合を進めていくのであれば、何年後というような指針を示して欲しい。自分の母校がなくなってしまうというレベルの問題ではないので、検討していただきたい。

教育創生課長：今後の有識者会議で、高校の在り方についても議題として取り挙げ、議論していきたい。

河野委員：今回は、中学３年生の生徒数と希望調査を基に、募集定員を決めているということでしょうか。

教育創生課長：はい。まず、募集定員の総数を決めるが、その際は、中学３年生の生徒数を参考にしている。また、それぞれの地域の中で、どの学校、どの学科を対象とするかは、希望調査も参考にしている。

河野委員：通学区域制が徐々に外されていくとしたら、募集定員の設定は、その地域

の生徒数の増減をあまり加味せず、希望調査を優先する、とはならないか。
教育創生課長：希望調査を優先するのか、あるいは、今までのように生徒数の増減で
まず地域に募集定員を割り振り、そして希望調査状況を加味していく
のがよいのか、といったことが有識者会議で議論されるのではないかと
考えている。

教育長 議案第32号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第32号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 人事委員会勧告等の概要について》

教育長 報告を求める。
教職員課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

岡本委員：教員の給与を増額する点については大賛成である。教員志望者が減少する
中で本県で教員になりたい、と県外から転居してくる方に赴任手当のよう
なものを支給してもらいたいとずっと思っていた。

教職員課長：本年度より採用に当たり県外から転居してくる方に対し、引越費用や家
族の交通費等の赴任旅費を支給することとしている。

岡本委員：十分な支給額となるようお願いしたい。

教職員課長：今後検討して参りたい。

島委員：私の会社では歯科技工士に県外から来てもらう場合、家賃の自己負担が1万
6千円となるように補助している。例えば家賃が6万円だと4万4千円。年
間50万円、8年間だと400万円の負担になるが、それくらいしないと来
てもらえない。

教職員課長：人材確保の参考とさせていただきたい。

横田委員：勤勉手当の成績率の上限引き上げについて、特に優秀の成績区分者は全体
の何パーセントくらいか。

教職員課長：データを持ち合わせていない。成績率の上限が平均支給月数の2倍から
3倍に引き上げられた場合の運用については今度検討していきたい。

[非公開]

《報告事項 1：公益通報の受付・処理状況について（令和 6 年 7 月から 9 月分）》

[閉 会]

教育長

本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 11 時